

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立落合東小学校	校長氏名	宅見 政子	生徒指導主事氏名	穂山 和也
-----	------------	------	-------	----------	-------

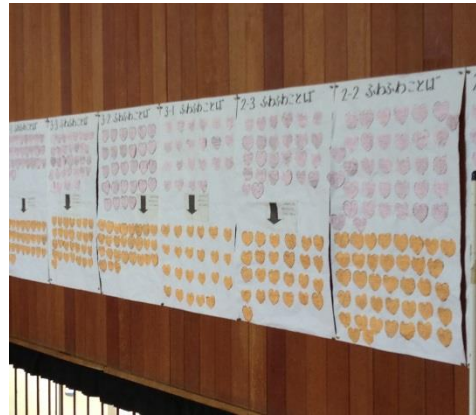
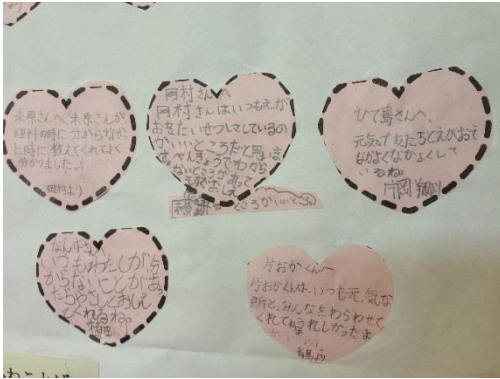
取組事例名 『平和集会』

取組のねらい『キーワード 自分たちにできること』

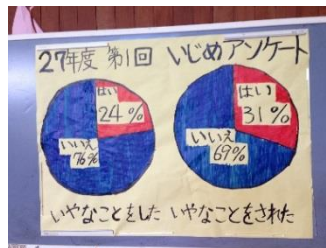
8月6日の原爆投下についての正しい認識をもつとともに、平和な世の中をつくるために自分たちでできることを考える。

取組の具体的内容『キーワード ふわふわキャンペーンといじめアンケート』

- ・ 6月10日代表委員会
- ・ 6月10日～19日「ふわふわキャンペーン」友達や自分のよいところをハートの用紙に書き込み、学級ごとに模造紙に貼り廊下等に掲示する。



- ・ 6月22日～26日「いじめアンケート」無記名。内容は、いやなことを言われたりされたりしたこと、いやなことを言ったりしたこと、落合東小学校をどのような学校にしたいかの3点。学級担任が目を通した後、児童会担当でまとめ、それを平和集会の中で発表する。
- ・ 7月15日の平和集会当日までに、「けんかをやめて仲良くしよう」など、各クラスの平和の誓いを作り当日全校の前で発表する。平和な世の中を作るために自分たちができることを、いじめ撲滅の視点も入れながら作っていく。また、「ふわふわキャンペーン」を通して温かい人間関係をつくる雰囲気を作る。



- ・ 7月15日平和集会当日。「一人ひとりを大切にする気持ちを持つ。みんなで命の大切さや平和について考える。」のねらいで実施する。

取組の課題・創意工夫『キーワード 温かい人間関係を育む』

- ・ 全体的には学校が落ち着いてきてはいるけれど、トラブルがなくなっていない。
- ・ 「いじめアンケート」を児童会で2回、生活部で1～2回行っている。これで児童の実態を十分に把握できるかどうかは課題が残る。
- ・ 「ふわふわキャンペーン」では、友達や自分の良いところを書いた用紙のいくつかをお昼の放送で児童会運営委員会が紹介した。廊下への掲示も含め、学校内に温かい人間関係を育む素地をつくった。
- ・ 「いじめアンケート」や「平和の誓い」作りを通して、学級内で温かい人間関係を育む大切さなどについて話し合う。

取組の成果（効果）『キーワード 落ち着いた学校の雰囲気』

- ・ 児童会のこの取組は数年続いており、本校に定着してきている。毎年創意工夫は加えながらも大筋はこの流れである。児童も先が見え安心して取り組んでいる。
- ・ 学校全体が落ち着いた雰囲気になってきている一因と考えられる。

今後の展開『キーワード 自分たちで決めたキャンペーン』

- ・ 児童会運営委員を中心に代表委員会で、「あいさつキャンペーン」「時間を守ろうキャンペーン」「身だしなみキャンペーン」を決めて実施していった。自主的・実践的な取組を行う中で児童が成長していくことが重要と考えている。

他校へのアドバイス『キーワード 児童へのフィードバック』

- ・ 「ふわふわキャンペーン」では、掲示等でフィードバックすることにより、全校に温かい雰囲気をつくることができた。
- ・ 「あいさつキャンペーン」「時間を守ろうキャンペーン」「身だしなみキャンペーン」ではお昼の放送を通して、取組内容やキャンペーンの結果など、具体的にフィードバックした。